

0. 基本構想全体について		
番号	意見・質問	委員氏名
1	<p>冒頭、事務局から素案をまとめるに当たって、簡潔明瞭に、表現は大括りにしたと説明がありました。全体のページ数は約半分、文字が大きくなったことを合わせると、約40%と、説明の通りコンパクトにまとめられていることは良いと思う、また、今後の本区の発展、変化に対応するためにも、施策面で大括りな表現にしたことも、結構だと思います。</p> <p>そのために、区民会議のまとめ、審議会での意見が十分に反映されきれていないように思います。</p> <p>基本的に、コンクリートされたものではなく、変化に対応することを考えると示された素案でよいと思いますが、言葉や用語については再度精査してほしいと思います。</p> <p>また、江東区の将来像については、前回の「伝統と未来が息づく水彩都市・江東」は、気に入っています。</p>	松江委員
2	<p>「区民にわかりやすく簡潔に」と説明されていましたが、全体として抽象的で意味するところ不明で、かえってわかりにくくなっていると思います。</p> <p>これまでの基本構想は主権者としての区民の立場を明記し、平和の尊重、人間性の尊重、区民にとって住みよいまちづくり、などを基本理念として、めざすところは大変明確でした。</p> <p>しかし、行政が行ってきたことは区民の願いに反して、福祉や医療問題では国の言いなりに区民の負担強化と区民福祉の切捨て、保育園や図書館、学校給食の民間委託など、「行革」の名による職員削減で区の果たすべき役割を後退させてきました。</p> <p>今回提案されている基本構想のわかりにくさは、区民の願いが「毎日を安心して」「しっかり働き」「心身ともに豊かに」「子育てをしっかりと」と人としてあたりまえの生活を求めていることに対し、これを支えるべき行政が逆の方向を向いているからだと思います。</p> <p>行政は、基本に戻って、憲法の保障する「健康で文化的な生活」を区民生活のあらゆる場面で享受できるよう、区民とともに江東区をつくってゆく立場に立つことを基本構想で明確にすべきと思います。</p>	菊池委員
3	<p>こども 子ども</p> <p>文中に「こども」が入ると、平仮名が並ぶため文章がわかりにくいと思います。江東区の公文書で「こども」に統一されておられるのだと思いますが、無理でなければ、「子ども」の方がわかりやすいと考えての意見です。</p>	曽根委員
1. 新たな基本構想策定の背景		
番号	意見・質問	委員氏名
4	<p>この10年間にも区民生活が大きく変わり、商店街や地場産業の衰退、雇用問題や生活格差の広がり、子育て施設の不足や高齢者の医療・介護問題など区民の暮らしに不安と困窮が広がっています。江東区の基本構想である以上、こうした区民生活の変化と、基礎的自治体として果たすべき役割について「策定の背景」として明記すべきと思います。</p> <p>最後の項で「こうした過去経験したことのない急激な社会状況の変化に的確に対応し」とまとめていますが、その目的が区民生活の安心・安全・豊かな生活につながる方向をめざすものであることを明記すべきと思います。</p>	菊池委員

5	<p>基本構想策定の背景には、江東区で暮らす外国人の増加、という視点も盛り込んでおきたいと思います。</p> <p>「2 基本理念」において、「区民とは、江東区に居住する区民だけでなく、区内で働き、学ぶなど、区内で活動するすべての人を言います。」とのことですが、中国や韓国、インドの人々を中心に、江東区で暮らす外国人の数は増え続けているように思えます。日本全体で見ても、将来はもっと多様な国の人々が暮らすようになり、そしていずれ母国へ帰っていく人も多くなるはずです。</p> <p>彼らの国においても、地球温暖化問題や多くの都市問題、高齢社会の進展など、いま私たちが直面している問題に、遠からず直面することになるはずです。</p> <p>江東区での暮らしやまちづくりを体験した人々が、将来世界中でその経験を活かしてまちづくりに取り組むことができるように、江東区で暮らす外国人に対して、区の取り組みを教育し、また区の施策に取り組むような仕組みを用意してはどうだろうか。</p>	韓委員
2. 基本理念		
番号	意見・質問	委員氏名
6	<p>審議会の中でも発言させていただきましたが、</p> <p>2 *基本理念の中、伝統あるまち・文化とともに国際性豊かな江東区を盛り込んでとは考えます。</p>	佐竹委員
7	<p>の1番目「次の世代が」の「が」は「に」ではないでしょうか。今現在をしっかりと生きることが次の世代につながるのであって、今問題とすべきは「今」をどうつくるか、だと思えます。「この伝統ある」の意味が不明です。</p> <p>の2番目は主客転倒だと思えます。区民の人権が尊重され、まちづくりの主役である区民の活動や意向を基本に、行政が仕事をするのだと思えます。</p> <p>10年前に策定されたこれまでの基本理念は、実際にどうであったかは別として、行政と区民がともにめざすべき方向の基本としてはよくできていると思えます。10年という短いスパンで無理して変える事はないのではないのでしょうか。</p>	菊池委員
3. 将来への展望		
番号	意見・質問	委員氏名
8	<p>全体として賛成できません。 の一番目に、開発により人口が増えることが「活力あるまちとして大きく飛躍する可能性」と規定していますが、既成市街地ではマンション建設による建築紛争が後を絶たず、南部地域の大型開発は環境への負荷、調和のとれたまちづくりなどからおおいに問題があると思えます。開発はむしろ見直し、区民が住みやすい江東区をめざすべきと思えます。</p> <p>の2番目となっている「安心して生き生きと暮らせるまち」が一番大事なことです。 「後世の人も豊かな生活を享受し」「先人が築き上げたもの」を「残して行く責務」とされています。しかし、今現在「くらしの格差」がひろがり、生活不安が高まっているなかで、現状認識がまったく違うのではないのでしょうか。</p> <p>「将来への展望」は、緑が街にあふれ、こどもの声、働く元気な声が町に響き、高齢者や障害者が大事にされ、区民一人一人が人として豊かに生きている、そういう江東区を私は展望します。</p>	菊池委員
9	<p>目指すべき江東区の姿 「2 未来に羽ばたくこどもを育むまち」</p> <p>(1) こどもたちが、やさしさ、かしこさ、たくましさにあふれています 子 どもたちが、子どもらしくのびのびと育ち、やさしさ、かしこさ、たくましさにあ ふれています</p> <p>(2) 地域社会が一体となり、こどもの未来を育んでいます 地域社会が一体となり、未来をになう子どもを育んでいます</p>	曾根委員

10	<p>言葉づかいのことですが、「目指すべき姿」を示す文章なのに、積極的な文章になっていないことが気になります。</p> <p>例. 身近に豊かな水辺と緑に親しむことができる空間整備により、都心にいながらうるおいあふれる美しいまちを実感できます 身近に豊かな水辺と緑に親しむことができる空間を整備することにより、都心にいながらうるおいあふれる美しいまちを実現します 誰もが地球環境保全の取り組みを行い、環境負荷の少ないまちづくりを実現しています 誰もが地球環境保全の取り組みを行い、環境負荷の少ないまちを実現します こどもを育てることに、喜びと生きがいをもつ社会になっています 誰もが持てる能力を發揮しながら、コミュニティ・生涯学習・スポーツ活動に参加できる豊かな地域社会が形成されています を形成します 都市基盤の整備により、誰もが快適に暮らせるまちづくりが実現しています 都市基盤の整備により、誰もが快適に暮らせるまちを実現します 公共交通網充実により、便利で円滑な交通体系が整備されていますを整備します</p>	韓委員
4. 施策の大綱		
(1) 緑あふれる地球環境にやさしいまち		
番号	意見・質問	委員氏名
11	環境負荷の少ない地域づくりに、生態系に配慮したまちづくりを入れては。	佐竹委員
12	具体的内容について口頭で説明だったので、聞きおとしがあるかもしれませんが、【めざすべき江東区の姿】では文章の形を「めざします」「つくります」で終わるほうがよいのではないのでしょうか。(1)環境負荷の少ないまちづくりに取り組む課題として、一極集中に歯止めをかけることをいれるべき。	菊池委員
13	<p>環境負荷...を環境に配慮したまちの形成として、</p> <p>イ) 環境負荷の少ないまちをつくり自動車社会から自転車、歩行者にやさしいまちをつくる(橋の高さを低くする、無電柱化等)</p> <p>ロ) 新技術を活用して資源循環型社会の推進(都と一体となって上下水道を利用した発電システム等)</p> <p>ハ) リサイクル活動等の推進による環境意識の啓発(ごみ問題等)</p> <p>上記の考えが未来会議での提言だと思います。</p>	石井委員
14	<p>に対する意見</p> <p>イ) 江東区を象徴する魅力的な資源である海・河川・運河の「水辺」空間を周遊できる連続性をもった整備を進める。区内周遊は人にやさしいまちと共に観光資源としての魅力をもっている。</p> <p>ロ) 親水公園、広場の緑地化、街路樹等の整備をさらに進め、自然の保全・改善・創出の視点にたつて、自然に着目した生態系の取り込み・回復を図っていき、そのことにより区民の気持ちを豊かにする。</p> <p>上記の考えが未来会議での提言だと思います。</p>	石井委員
15	<p>環境負荷の少ない地域づくり</p> <p>環境への配慮は世界的な潮流となっている。国の法律改正、都の条例改正をふまえ、区として何を担っていくのか検討いただきたい。</p>	野本委員
16	<p>水辺と緑に彩られた魅力あるまちの形成</p> <p>当区は水辺空間という点で非常に恵まれた環境にある。それらを活用しながら、必ずしも多くないと思われる緑の充実を。</p>	野本委員

(2) 未来に羽ばたくこどもを育むまち		
番号	意見・質問	委員氏名
17	ゲーム等によるバーチャル体験、マスメディアによる情報の氾濫など子どもたちのいる環境を考えると、考える力・人の心と体の痛みを感じる力を身につけることができる環境づくりが必要と考えます。そこで、「読書運動・体験学習により、心と体のバランスがとれた希望・夢を抱く子供たちを育みます」	佐竹委員
18	具体的内容について口頭で説明だったので、聞きおとしがあるかもしれませんが、【めざすべき江東区の姿】では文章の形を「めざします」「つくります」で終わるほうがよいのではないのでしょうか。(2)審議会で意見が出ていたように「羽ばたく」ではなく「担う」のほうがよいと思います。子育て家庭の「経済的負担の軽減」を施策として入れてください	菊池委員
19	前文(1)そのため、こどもの年齢や子育て家庭の世代ニーズを的確にとらえ、安心してこどもを産み、育てられる環境の充実に努めます。そのため、子どもの状況の変化や子育て家庭の世代ニーズを的確にとらえ、安心してこどもを産み、育てられる環境の充実に努めます。 (2)さらに、家庭・学校・地域が一体となり、健やかなこどもの未来を育む地域社会づくりを進めます。さらに、家庭・学校・地域が一体となり、未来をにう健やかなこどもを育む地域社会づくりを進めます。	曽根委員
20	「安心してこどもを産み、育てられる環境の充実」への追加 (1)・子育て中の親の孤立を防ぐための仕組みを強化する。 (乳児訪問の強化・助産師やNPOなどの活用、小規模な子育て広場(居場所)の設置、相談窓口の充実、NPOや地域組織の活用)	曽根委員
21	「生きる力を育む魅力ある学校(園)づくり」への追加 (1)・先生が生徒ひとりひとりに向き合う時間を増やすための支援を進める。(学校事務職員の設置、学習支援員の増加、1クラス人数の減少など) (2)・学校と地域の連携を強めるための仕組みを強化する。 (公立学校への地域支援組織の設置、学校評議委員会の活性化など)	曽根委員
22	「こどもの未来を育む地域社会づくり」への追加 (1)・子どもや子育て家庭を、地域で支え見守るための仕組みづくりを進める(地域での支援人材の育成、ボランティアの活用を進める、広報し認知を高める、民生児童委員や主任児童委員を活性化する、NPOや企業と連携する、モデル地区での支援組織の結成など) (2)・子どもの安全で自由な遊び場・居場所づくりを進める (プレーパークとプレーリーダーの設置、中高校生の居場所の設置、放課後児童対策と学童クラブの充実、地域組織やNPOとの連携など)	曽根委員
(3) 区民の力で築く元気に輝くまち		
番号	意見・質問	委員氏名
23	具体的内容について口頭で説明だったので、聞きおとしがあるかもしれませんが、【めざすべき江東区の姿】では文章の形を「めざします」「つくります」で終わるほうがよいのではないのでしょうか。(3)審議会でも発言しましたが、元気な街の基盤は地域産業の発展で、伝統文化はその上に築かれるものと思いますので、文章と施策の位置づけの入れ替えるべきと思います。	菊池委員
24	地域を支えているのは、商工住の方々ですが、サラリーマンの方々は優秀ですが、昼間は時間的余裕がありません。 従いまして、時間が比較的余裕のある小規模事業者、商店街の方々が地域の役員等をして、地域を支えています。 上記の方々が元気が出なければ、地域の活性化、発展は望めません。そういう観点から、もう少し商工業を強調して頂きたいと思います。	伊藤委員
(4) とともに支えあい、健康に生き生きと暮らせるまち		
番号	意見・質問	委員氏名
25	自助・共助の精神みなぎる、生涯いきがいを持って暮らせるまち	佐竹委員

(5) 住みよさを実感できる世界に誇れるまち		
番号	意見・質問	委員氏名
26	高齢者の為にも子供たちの心の豊かさやコミュニケーション能力の育成にも「異世代間交流の出来る場(施設)が多い、賑わいのあるまちづくり」	佐竹委員
27	中小零細企業や地場産業の積極的な支援により、地域と世代の交流で賑わいのあるまちづくり	佐竹委員
28	具体的内容について口頭で説明だったので、聞きおとしがあるかもしれませんが、【めざすべき江東区の姿】では文章の形を「めざします」「つくります」で終わるほうがよいのではないのでしょうか。(5)ホームレスが増え続けている現状からも、深刻な住宅問題について位置づけ、施策の展開が必要と思います。これまでの臨海部開発との共生路線を見直し、既成市街地でのマンション建設の規制を求めます。	菊池委員
29	<p>に対する意見 公共交通の充実したまちをつくる。新しい町(湾岸・豊洲地区等)と古い町(深川、大島、亀戸地区等)を繋ぎバランスを持った一体感の有る区をつくっていく。</p> <p>イ)南北幹線交通の整備 新型路面電車システム(LRT)の導入を図り人と環境にやさしいまちをつくっていく。</p> <p>ロ)1度の乗り継ぎ(ハブ:区役所)で区内の隅々まで移動可能なコミュニティバスの運行により地域の商店街、産業の活性をよりおこし、区民の暮らしやすいまちをつくっていく。</p> <p>上記の考えが未来会議での提言だと思います。</p>	石井委員
30	<p>に対する意見 新しい災害、被害に備えのあるまちをつくる。地域のコミュニティ活動の積極的な取り組みとネットワークの構築により防災、防犯の認識を高め充実を図っていく。</p> <p>イ)災害に備え、橋、河川、運河の護岸を強化すると共に消防活動の困難区域をなくし、液状化対策や建物の不燃化の促進をさらに進める。</p> <p>ロ)区内は東京のベッドタウン化が進んでおり、ワンルームマンションの問題、新しい振り込め詐欺の問題、交通事故の問題、催眠商法の問題、不法外国人の定住対策等、安全安心な生活を脅かす事柄が多いので区民間あるいは区と事業者間のネットワークを構築し情報の共有化の充実を図り、普及・啓発を推し進めていく。</p> <p>上記の考えが未来会議での提言だと思います。</p>	石井委員
31	人々の交流を活発化させ、さらに地域の賑わい創出に資するよう、地域と地域を結ぶ効率的な交通システムを導入する。その際、地球環境にやさしい乗り物とするように、交通事業者働きかけていく。	小林委員
5. 基本構想の実現のために		
番号	意見・質問	委員氏名
32	区民の参画・協働と開かれた区政の実現 ・ボランティアなどで区政に参画・協働したいと思っている区民を発掘し、育成する仕組みが必要だとおもいます。	韓委員
33	<p>スリムで区民ニーズに的確に対応した行財政運営</p> <p>・まず、区民ニーズを的確に把握するための組織や仕組みづくりが必要です。</p> <p>・柔軟な対応ができるスリムな行財政運営にするためには、現場に権限を移すなどの改革も必要になるはずで、そのための指針や道筋づくりが求められます。</p> <p>・行財政に対する評価にあたり、区民や事業者、専門家、報道関係者等も含めた委員会など区政から独立した組織により、パブリックコメントなども含めて行うべきではないでしょうか。</p> <p>・評価を、次年度以降の行財政運営に反映する仕組みの確立が必要です。</p>	韓委員
34	<p>自律的な区政基盤の確立</p> <p>・「自律的な区政基盤」という言葉は、具体的にわかりやすい説明が必要だと思います。</p>	韓委員
6. その他		
番号	意見・質問	委員氏名
	(なし)	